

ニュースレター

いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局
西表森林生態系保全センター
平成 25 年 7 月 発行 No.38 号



ゲットウ

大原中学校の古見岳登山を支援

5月11日（土）に、体験学習の一つとして、大原中学校の古見岳登山が実施され、当センターでは森林環境教育を推進することになると考え、支援しました。

前日の大雨で実施できるか危ぶまれましたが、天候が大きく崩れることなく無事に実施できました。参加者は生徒 27 人と職員、保護者、支援者ら合わせて 43 人の総勢 70 人で、ユチン橋の登山口から、3 班に分かれてユチン川を遡りながら、西表島の最高峰である古見岳（469.5m）を目指しました。前日の雨などで滑りやすい箇所などがありましたが、約 4 時間余りで山頂に到達しました。山頂からの景色を楽しみながら昼食を取った後、途中歩みが遅くなったりする人も出ましたが、16 時半頃には全員が無事に下山しました。



出発前の記念写真

海岸林再生試験の在来種の植栽方法別生育試験プロット設定

5月14日（火）に海岸林自然再生試験地において、在来種（フクギ・テリハボク）の植栽方法別生育試験プロットの設置を行いました。

この植栽方法別生育試験プロットは、郷土種であり防風林に適しているフクギ・テリハボクを低コストで発芽、生育させるためにはどのような方法があるかを考察するためのものです。腐葉土を客土しての播種、海岸の土に埋土しての播種、ポット苗、コンテナ苗などによる試験を行い、今後の発芽・生育状況を調べることにしています。



在来種の播種状況

漂流・漂着ゴミの定点観測調査の実施

漂流・漂着ゴミの定点観測調査を4月20日（土）と5月10日（金）に実施しました。

観測地点（6カ所）における漂着ゴミの状況は、冬期の北西風の影響がなくなったこともあり、海流の流れによって漂着するものが増えてくると考えられますが、今回の調査では漂着ゴミの増加が顕著になっている箇所はありませんでした。

しかしながら、海岸に漂着したゴミが、隣接する潮害防備保安林の林内に、台風等による強風の影響で入り込んでしまい、滞留したままの状態になっています。このようなゴミを放置すれば、林木の生育に影響を与え、潮害防備保安林の機能が低下していくことは明らかですので、早いうちに何らかの方策を講じていく必要があると考えられます。



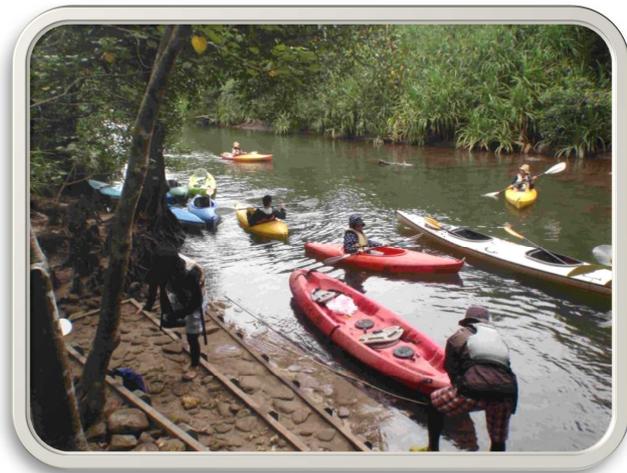
防風林内に滞留している漂着ゴミ（ユチン地区）

平成25年度ヒナイ川、西田川の利用状況調査（4月・5月分）報告

今年度最初の4月期の利用状況調査を西田川は18日（木）、ヒナイ川は22日（月）に実施しました。西田川は0名、ヒナイ川はカヌーツアーが10組、利用者数45名（ガイド含む）、また、5月期のヒナイ川利用状況調査を5月28日に実施し、カヌーツアーが9組、利用者数33名（ガイド含む）でした。

ほとんどが県外からの若者達を中心でしたが、中には年配の二人連れのツアー客も何組か見られました。

案内しているガイドからの情報では、大型連休中と比べたら少なくなっているということでした。今後は連休中の利用状況調査についても実施するようにしたいと考えています。



仲間川木道周辺のモニタリング調査を実施

5月21日(金)に仲間川支流の北舟付川(ニジツツガワ)の木道周辺に設定したマングローブ林のモニタリング調査を実施しました。

調査項目は、立木の生育状況の調査、砂泥の移動状況を調べるための地盤高調査、林内の光環境調査、砂泥地の塩分濃度調査そしてデジカメによる定点観測撮影を実施しました。

昨年(2022年)の11月の調査と比較して各調査結果に大きな変化はみられませんでした。



木道



調査風景

森の巨人たち百選「仲間川のサキシマスオウノキ」のモニタリング調査を実施

森の巨人たち百選に選定されている仲間川のサキシマスオウノキのモニタリング調査を5月30日(木)に実施しました。

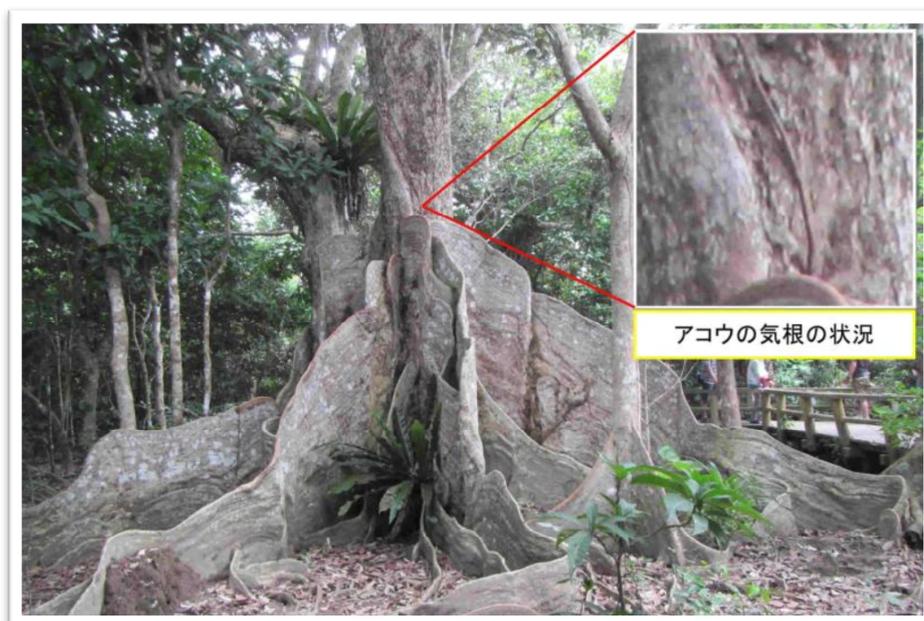
調査項目は、樹高・幹回り・板根の測定調査、光環境の変化、周辺区域の植生、枝張りの状況そして土壌の硬度を調査しました。

これまでの調査結果と大きく変化したものはありませんでしたが、サキシマスオウノキに着生しているアコウの気根が成長して与える影響を注視する必要があります。

※アコウの特性

クワ科の植物で、海岸近くの林内に生える常緑の広葉樹

気根(幹から地面に向かって下がっている根)を伸ばして木に絡みつき枯らすことから絞め殺しの木と呼ばれています。



森の巨人「仲間川のサキシマスオウノキ」

西表島の似たものの植物

ヤマモモ

vs.

ホルトノキ



区 分	木本類
分 布	本州（関東南部・福井以西）、四国、九州、沖縄等
葉 の 形	被針形
葉 の 縁	全縁、鋸歯
葉 の 先	鋭形

区 分	木本類
分 布	本州（千葉以西）、四国、九州、沖縄
葉 の 形	長楕円形、さかさ被針形
葉 の 縁	鋸歯
葉 の 先	鋭形

葉 の 種 類	単葉
葉 の 付 方	互生
葉 の 基 部	くさび形
実 の 種 類	核果
花 ・ 萼 色	赤色

葉 の 種 類	単葉
葉 の 付 方	互生
葉 の 基 部	漸尖形
実 の 種 類	核果
花 ・ 萼 色	白色

説 明	<p>山地の日当たりの良い山野などに生育し、高さ6-10m、大きいものは20mにもなる常緑の高木です。葉は革質で、長さ5-10cm、幅1.5-3cm、両面とも無毛です。葉の縁は全縁かまばらな小さな鋸歯があり、幼木の葉は荒い鋸歯があります。花は葉腋から穂状花序に咲きます。実は核果で球形、径1.5-2cm、赤く熟し食べられます。</p>
-----	---

説 明	<p>低地から山地の林内に生育し、高さ10mの常緑の高木です。樹皮は淡い灰褐色で滑らか、小枝は無毛です。葉は互生し枝先に集まってつき、表面は深緑色、裏面は淡い緑色で被針形、長さ5-12cm、幅1.4-3cmです。古い葉は鮮やかな紅色をしています。花は葉腋から総状花序に白色の花が咲きます。実は長楕円形で、緑色でうちに熟して黒紫色になります。</p>
-----	--

林野庁 九州森林管理局 西表森林生態系保全センター

〒907-0004 沖縄県石垣市登野城55-4 石垣地方合同庁舎内
TEL : 0980-88-0747 FAX : 0980-83-7108

URL: <http://www.kvusvu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>

